

常呂高校の定時制季節家庭科設置時代の思い出

*注：昭和36年1月10日 家庭科設置認可

9月5日 常呂町議会において、昭和37年度から全日制設置の件を議決

11月30日 常呂高校整備計画第1期工事落成

普通教室 4教室 80坪

生徒玄関・廊下 132坪

計 212坪

昭和37年1月16日 全日制設置認可

4月10日 全日制普通科第1学年入学式

男子 66名

女子 43名

計 109名

9月 第1回学校祭開催（全日制第1学年と定時制合同）

10月20日 常呂高校整備計画第2期工事落成

屋内体育館完成

「私の高校生活」（抜粋） 星篤子

「常呂高校四十年史」掲載

（略）私は昭和36年の4月に定時制季節家庭科に入学しました。家庭科に学ぶ仲間は13人ほどの女子ばかり、学級でほとんどの人は農業を手伝いながらの通学です。

農繁期の4月から10月までは週2日間、以降3月までは毎日登校する生活が4年間続きました。

夏、焼きつける太陽の下で毎日朝早くから日暮れまでの農作業のかたわら、週2日間の登校日はそれは楽しいものでした。学校でお友達に会っているようなお話ができるうえに身体の休養になるのですから。

窓を開けカーテンを閉じた教室では、木陰にも似たさわやかな風が私たちの髪を撫で、先生も生徒も弾む心での授業です。でも昼食をし、午後からの授業となると緊張も解けて先生の声が次第に遠くなり、いねむりをするこもしばしばでした。

そのような毎日でしたが、働きながら学んでいた私たちに注がれる諸先生のまなびはとても優しく温かいものがありました。そのおかげで無事4年間を過ごすとともに、卒業できたのだと今なお感謝しております。（略）